

第2回室戸岬・乱礁とへんろみちウオーク 10kmコースに参加(2008年1月27日)



バーデハウス室戸に集合。
首に掛けている10と書かれた札は
10kmコース参加者の目印。

室戸市長などによる開会式の挨拶
があり、みんなでストレッチ体操。
エイ・エイ・オ - と気合いをいれて
10時に出発。



急な遍路道を上る。
弘法大師が念仏を唱えて異変をおさ
めたとされている捻岩(ねじりいわ)



出発から約40分後に四国霊場24番札所・最御崎寺(ほつみさきじ)に到着



仁王門、大師堂、多宝塔、正面に本堂がある。ご本尊は大同二年(八〇七)大師が寺の創建と共に刻まれた虚空蔵菩薩。元和年間に最勝上人が再興し、大正三年には本堂が復興した。



室戸スカイラインから眺めた室戸岬町と土佐湾。奥に見える岬は行当岬。水平線の向こうに見える雪を被った山脈は石鎚連山。



中岡慎太郎の像の前の広場では、「第33回室戸市春の観光びらき」が開催されていて、焼きそば、コーヒー、にぎり寿司などが販売され、鰹たたきの実演無料試食会があった。鰹たたきを試食し、焼きそばを買って昼食。美味しい。



室戸岬の海岸には、亜熱帯植物が生い茂っている。

遊歩道は、うばめがし、あこうの林のトンネルをくぐっていく。あこうの木の根は岩に絡まって成長している。



タイのアユタヤ遺跡でた仏像の頭が木の根に絡まっていたのを思い出した。

遊歩道沿いに自生する巨大サボテン



室戸岬の海岸には、いろいろな形をした岩礁が見られる。その一つが、悲しい伝説の残る「びしゃご巖」。
昔この附近に「おさご」と呼ばれた美人が住んでいた。余りの美しさに多くの男達が彼女に愛を求めて朝夕この所に舟を漕ぎよせて来た。彼女はその煩しさに耐えかねて、美女が生まれないように祈りながら巖頭より投身したと伝えられている。 5



ゴールに帰って、豚汁のサービスを受ける。スタッフの皆様のお接待に感謝。アンケート用紙には、「室戸岬・乱礁とへんろみちウオーク」に大満足と記入。



太平洋を見下ろす室戸青年大師像と涅槃像。青年時代に弘法大師が修行をしたゆかりの地であることから、昭和59年に建立された。



19歳の大師が悟りを開いたといわれる洞窟・御厨人窟（みくろど）。内には五所神社と呼ばれる社がある。ここから見える太平洋の「空と海」に感銘を受け“空海”と名前をつけたと言われている。

第3回室戸岬・乱礁とへんろみちウオーク 10kmコースに参加 (2009年1月25日)



昨年に引き続き2回目の参加。初回は220名，昨年は150名，今年は70名と参加者が毎年減っているのは気がかり。

受付(参加費1000円)を済ませ，室戸市長の挨拶，バーデハウス支配人の歓迎挨拶，主催者より留意事項の説明，ストレッチ体操の後，10時に15kmコースが出発。10kmコースは10時10分のスタート。

バーデハウスをスタート 高岡漁港 杉尾神社でUターン 青年大使像(空海)前 御厨人窟(みくろど)前 最御崎寺(ほつみさきじ)参道 最御崎寺で中間チェック 室戸スカイライン 乱礁 中岡慎太郎像の前の第34回室戸市春の観光びらきによって昼食 ジオパーク ゴール 豚汁をごちそうになりながらアンケート用紙に記入 バーデハウスで入浴



国道横の菜の花畑をバックに記念撮影



四国霊場24番札所・最御崎寺(ほつみさきじ)